

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【公開番号】特開2013-132408(P2013-132408A)  
 【公開日】平成25年7月8日(2013.7.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-036  
 【出願番号】特願2011-284778(P2011-284778)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 2 0 M

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

A 6 1 B 6/00 3 0 0 X

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月26日(2014.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体にX線を照射するX線発生器と、前記被検体を透過したX線を検出するX線平面検出器と、前記X線平面検出器から出力された信号に対して画像処理を行なうX線画像処理部と、前記X線画像処理部から出力されたX線画像を表示する表示部と、を備えるX線画像診断装置において、

前記X線発生器の位置を変えるためのX線発生器移動機構部と、前記X線平面検出器の位置を変えるためのX線平面検出器移動機構部と、前記X線平面検出器の位置の変化に伴い、前記X線発生器移動機構部を用いて前記X線発生器の位置を制御するX線発生器位置制御部と、前記X線平面検出器のX線検出面の大きさを設定するX線平面検出器設定部と、を有し、

前記X線発生器位置制御部は、更に、前記X線平面検出器設定部の設定結果に基づいて、前記X線発生器の位置を制御すること

を特徴とするX線画像診断装置。

【請求項2】

前記被検体の撮影部位を設定する撮影部位設定部を有し、前記X線発生器位置制御部は、更に、前記撮影部位設定部の設定結果に基づいて、前記X線発生器の位置を制御すること

を特徴とする請求項1に記載のX線画像診断装置。

【請求項3】

前記X線平面検出器移動機構部は電動にてX線平面検出器位置制御部により制御され、前記X線平面検出器位置制御部は、前記被検体の長尺撮影を設定する長尺撮影設定部の設定結果に基づいて、前記X線平面検出器の位置を制御すること

を特徴とする請求項1に記載のX線画像診断装置。

【請求項4】

前記X線平面検出器を複数有し、これらX線平面検出器が有するX線検出面の大きさは互いに異なっていること

を特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載の X 線画像診断装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記課題を解決するために、本発明は以下の様に構成される。

被検体に X 線を照射する X 線発生器と、被検体を透過した X 線を検出する X 線平面検出器と、X 線平面検出器から出力された信号に対して画像処理を行なう X 線画像処理部と、X 線画像処理部から出力された X 線画像を表示する表示部と、を備える X 線画像診断装置において、X 線発生器の位置を変えるための X 線発生器移動機構部と、X 線平面検出器の位置を変えるための X 線平面検出器移動機構部と、X 線平面検出器の位置の変化に伴い、X 線発生器移動機構部を用いて X 線発生器の位置を制御する X 線発生器位置制御部と、X 線平面検出器の X 線検出面の大きさを設定する X 線平面検出器設定部と、を有し、X 線発生器位置制御部は、更に、X 線平面検出器設定部の設定結果に基づいて、X 線発生器の位置を制御することを特徴とする。